# 第 119 回日展

## 第 3 科（彫刻）　審査所感

審査主任　神　戸　峰　男

日展は、今回 119 年を迎えます。ここ数年、日本中が酷暑を越えた猛烈な暑さに襲われ、また全国各地で自然災害が相次ぎ、大変な影響を受けました。

このような状況下で、寄せられた多くの作品を前にし、鑑・審査にあたることが出来ましたこと、審査員一同関係各位に改めて感謝申し上げます。

今年の一般出品数は 79 点でした。鑑査は厳正かつ公平を心掛け、誠意をもって進めて参りました。内入選は 36 点、初入選は 6 点となりました。彫刻表現が多岐多様化するなか、今回の出品作品にも様々な表現手法がみられ、今後の具象表現の展開に期待することができました。また特選審査においては 4 点選出しました。この結果は、過去になく厳しいものになりましたが、彫刻を真摯に求める審査員の総意が反映されたものでありました。

また今年より、未央賞が新設され、創作の喜びや楽しみ、さらに独創性などが感じられ、将来が期待される作品が 5 点選出されました。

展示会場において、その魅力が放たれるものと信じています。

| | |
|---|---|
| 搬入数 | 79 点 |
| 入選数 | 36 点 |
| （内新入選） | 6 点 |